

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	担当職員が深く関わって利用者の思いを把握しはじめているため、その関わりを大切に、そこから得た情報を介護計画に反映させ変化に応じ見直すことが望まれる。	定期的なモニタリングを行い、利用者の変化を見逃すことなく、変化に応じた介護計画を立てることができる。	モニタリング用紙の活用方法について確認し、利用者の変化や目標の達成状況が分かるよう記録する。また、担当者が責任を持って目標達成期間をチェックし、介護計画の見直しの時期になったら、速やかにモニタリングを実施する。	6ヶ月
2	34	意識消失や誤嚥、転倒・骨折等症状別にマニュアルを作成し、定期的に訓練することで具体的な動きが身に付き、慌てずに対応できることが望まれる。	緊急時の対応マニュアルを見直し、症状別に定期的な訓練を行うことで、慌てずに対応できるようになる。	予測される急変時の症状を整理し、より細かな症状別のマニュアルを作成する。また、具体的な事例を取り上げて、事業所内部での研修を重ねる。	6ヶ月
4	35	災害別に具体的な避難誘導マニュアルを作成し、それによる訓練を行い不具合は見直す等実践的な訓練を繰り返すことで利用者の安全を確保することが望まれる。	災害別に、事業所の実態に即した避難誘導マニュアルを作成し、利用者の安全を確保するための実践的な訓練を行う。	事業所の実態を十分把握し、それに即した災害別の避難誘導マニュアルを作成する。また、訓練内容を細分化して、より実践的な避難訓練を、できれば2か月に1回行う。	6ヶ月
5					
6					